

# 柿崎かわあばん



編集発行：柿崎まちづくり振興会 電話:025-536-2140 FAX:025-536-2558  
blog : <http://ameblo.jp/kakizaki-ward>  
mail : [sukidesu-kakizaki@brown.plala.or.jp](mailto:sukidesu-kakizaki@brown.plala.or.jp)

**第4号**  
2007.12.15 発行



## 防災講演会

『災害に学ぶ』

運営委員長 箕輪 幸男

突然山が動き、大地も動いて、歴史上最大の地震が発生しました。被害は過去最大でしたが、人命にかかわる被害は柿崎区では最小でした。

「災害は忘れた頃に」との言い伝えがありますが、実体験が生々しいうちに「上越南消防署永井特別救助隊長」を講師に招き「災害救助活動で思う地域の助け合い」の講演をいただきました。氏は講演の中で「能登半島地震」で人命被害が出なかったのは、自主防災組織が機能していたからと強調されました。



柿崎地区防災講演



屋根のあるほたる橋



## 『ふみ子の海』を観よう

小林 肇

10月25日、地区公民館で延べ500名余の観客。モデルの栗沢キヨ先生と教鞭を共にされた原作者の市川信夫先生のご挨拶と、この映画の見どころを拝聴の上、観覧して感銘深し。「はい、師匠。」と盲目の幼い女の子のけなげな立ち振るまいに思わず涙した方も多かったろう。

耳目を通し、私達は本当の勇氣と多くの示唆を与えられた。最近になり素晴らしい映画だった。

## ほたるの公演

長井 泰雄

蛭で地域おこしをしている仁上集落は、旧大島村の保倉川上流の集落で、37世帯。高齢者が多く、保倉川改修に伴い周辺整備に取り組み、7月には蛭まつりを開催しています。

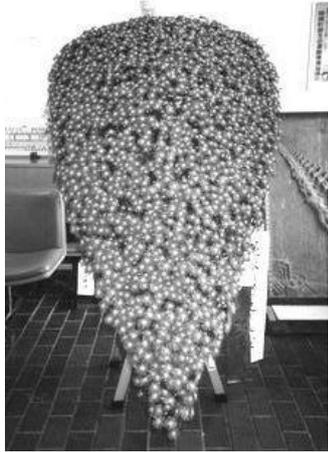
10月28日、七ヶ地区講演会場では、講演終了後の質疑で、雁海、法音寺で蛭が発生していて、蛭の生態、餌、周辺環境整備等、活発に質疑が交わされました。

### 柿崎区文化祭

#### 『菊のつむじ』

柿崎菊花会 片桐 茂

菊は風通しの良いところが好きです。(葉のめくれる強風は嫌いです) 菊は湿り気が多いところが嫌いです。(水やりは水分が夕方までに乾くように) 菊は肥料が大好きです。(ただし少しずつにしてください) 菊は虫にも好かれず。(油虫、青虫が付く、時々消毒してください) 菊は病気にもなりやすい。(下葉の枯れるのも病気です) 菊はいろいろな背丈があります。(長幹、中幹、短幹と呼びます) 菊は人の姿は好きですが、(葉や花に触られるのは嫌いです) 菊は朝日が大好きで夕日は嫌いです。(時々鉢を回してください) 皆さんも菊を作ってみませんか。



### ダムつ湖スポーツフェスティバル

#### 『地域の活性化を目指して』

柿崎いちもく会 永原 正幸

平成8、9年にダム周辺利用のためのワークショップを重ねていた頃を思い出しました。

この地域にはこれといった名所になる物が無く、ダム建設を契機に、区内外に誇れる物が出来上がりませんでした。そして、この計画に盛り込まれた水辺の広場を会場に、町民駅伝大会に代わるイベントのスポーツフェスティバルが開催され2回目となりました。

ただ、この企画を継続して地域を活性化するイベントにするには、住民の地域を思う気持ちと、意義の理解、そして協力が必要です。



楡井 志津子

小春日和の秋の一日、日頃の運動不足の解消にと主人と二人で出掛けました。

眼下に広がる景色を眺め、吟田川の泉水に喉を潤し、すてきな時を過ごすことができました。翌々日の筋肉痛に「もう若くないわ・・・」と苦笑いでした。



#### 『駅伝大会』

中央ファイターズ 石田 靖晶

僕の走る区間は1区とアンカーで、とても大切な区間です。1区では中学生について行こうと必死に走りました。アンカーではバスケット部の先生を追いぬきましたが、ゴール直前で逆転され悔しい思いをしました。でもみんなで頑張ったおかげで、小学生の部で優勝することができ、最高の思い出になりました。

#### 『歩け! 歩け!』



永田 節子

さあ、おいしい豚汁を作りましたよ。天気もよく、駅伝で走った方はもちろん、ダムの周辺を歩いた方、応援に来られた方のために取り掛かりました。食推の会員を中心に、ネット柿崎の皆さんの協力で「おいしい」という嬉しい言葉を聞くことができました。

#### 『熱々とん汁作り』



### 柿崎魅力発見ツアー

ネット柿崎 木村 芳明

ネット柿崎の行事として一昨年に続き今回は2回目の魅力発見ツアーです。柿崎の魅力をもっと知るうと、今回は普段登ることの無い山城に登っていただき、そこから見える情景を講師の小林、佐藤両先生から歴史と合わせて語っていただきました。

そして昼には水野で蕎麦に押し寿司と郷土料理を堪能して、参加していただいた柿崎区以外の方にも柿崎の魅力を情報発信できたに違いありません。  
来年もやりますよ。



### 楽しい敬老会

実行委員長 山本 達雄

振興会では今年2回目の敬老会です。自作自演、それもボランテニアの皆様の強力なご支援で、揃いのウェアは見事でした。また新聞の写真に見られるように笑いのアトラクションも楽しんでもらいました。次年度は、アトラクションの時間を長く取り、皆様の笑いをもらえれば、そして会員の皆様の参加率を上げて、より楽しい敬老会にと望みます。

### 歌ってほしい 上越市民の歌

教育文化部会 宮川 悦子

新しい「上越市民の歌」を一緒に歌いませんか、と募集し22名の方に参加いただきました。指導は市民歌歌詞審査委員であられた玉井龍先生にお願いし、唱歌等を交え和やかに練習を重ねてしつかり歌えるようになりました。

愛される市民歌をめざして第一歩の活動です。継続しないと意味がありません。また計画したいと思えます。よろしくお願いいたします。

### 文化講演会

教育文化部会長 宮澤 安雄

去る11月25日、合併後初のまちづくり振興会主催の講演会が行われました。講師は居多神社の花ヶ崎先生です。

内容は上杉謙信と風林火山の話で1時間半、ユーモアを交えながらの講演でした。柿崎景家については、資料に基づいての話でありました。聴衆も100名近い方に来て頂き、振興会初めての講演会としては、上出来ではなかったかと思えます。また、来年度もさらに良い講演会が開催できるよう準備をしていきたいと思っています。



### 今後の予定

- 12月23日 子供会のクリスマス会
- 1月3日
- 新春マラソン大会
- 1月20日
- 2月17日
- 3月9日 エンジョイスキー教室 (小・中学生対象)
- 2月3日 下黒川地区餅つき大会
- 新年の集い
- 2月中
- 3月2日
- 3月2日 ゲートボール大会
- 3月2日 スポレック大会
- 3月16日 (予定) (兼スポーツ交流会)
- 親鸞聖人と東信国尼
- ゆかりの地巡りツアー



各行事に参加するときは会員カードを忘れずに持参して下さい。

# ペット紹介

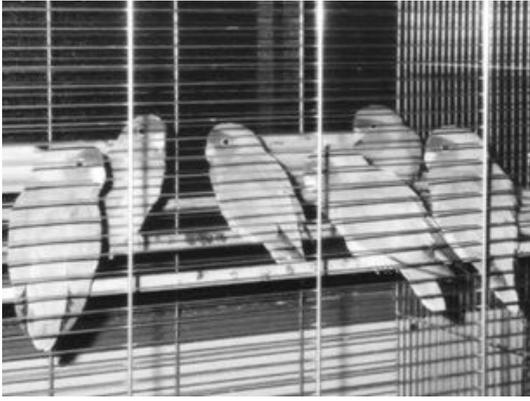
## 『小桜インコ』

二区 若月

体長約15センチ、体重45グラム位の小鳥です。顔が綺麗な桃色で、体は薄緑色、尾が青くとても可愛いです。つがいの仲が良く、たくさん子どもを作ります。

性質は割と神経質で、大きくないと人にはあまりなつかないようですが、誰にでも飼いやすい小鳥です。

決して綺麗好きではなく、あちこちでフンをするので、カゴや餌入れはこまめに掃除してあげています。



# サークル紹介

## 『はまなすFRC』

小関 健司

楽しく走って、楽しく飲む！  
はまなすフアンランクラブは、

そんなメンバーの集まりです。年齢も20代から50代と幅広く、女性が多いのも自慢(?)の一つです。

年10回程度のレースに照準を合わせ、個々のペースで練習に励んでいます。掲げる目標も、タイムを狙う人、健康のために走る人と様々です。枠にとらわれないのが走り続けるコツかもしれません。

# 柿崎探訪

## 上下浜地区

小山 貞栄

我が上下浜の先祖が、犀濱村として、なりわいの記述が存するのは、上杉景勝の朱印状においてであります。

上杉謙信が没した天正6年(1578年)3月から三条・栃尾城が落城する天正8年(1580年)7月にかけて、家督相続をめぐる内乱が続いたわけですが、この間に



戦功のあった家中の武将に対し、景勝は、天正9年(1581年)11月末に一斉に知行の加増を行いました。

越佐史料は、景勝の朱印状38通を上げ、この中の堪忍領<sup>※</sup>に犀濱村の記述があります。

私たちは、営々と427年の歳月を刻むこの地で、先達の栄光と営みを継承しております。

(※) 堪忍領(堪忍分)：中世、武家で客分の士又は討ち死にした家臣の遺族などに給与する禄。

# 臨時事務職員募集

柿崎区体育施設の管理運営に伴い、下記の要領により職員を募集します。

- 資格：事務経験者 パソコン基本操作可
- 期間：平成20年1月7日から3月末(4月以降も勤務可能な方)
- 勤務：週5日 9時～15時30分 実働5.5時間
- 休日：土日祝日
- 給与：時給750円
- 待遇：交通費支給
- 保険：労災・雇用
- 応募：履歴書(写真付)をご持参ください。選考日時をご連絡します。

# 編集後記

皆様のご協力を得て、かわらばん4号を発行することができました。ありがとうございます。

足早に去った秋でしたが、柿崎区のほんの一部の秋をこの号で思い出していただけでしたでしょうか？師走も半ばになり何かと気ぜわしい頃ですが、体調管理に十分気をつけ今年を乗り切りたいものです。

By Jyunko